

3年音楽科 学習指導案 授業者 向田瑞貴

1 題材の概要

題材名 新作歌舞伎「日本発文化架橋」～文化紹介ドリームプラン B 鑑賞 ア(ウ)・イ(ウ)

授業の概要：海外から日本に来る観光客に対し、日本の文化を紹介する短編の新作歌舞伎を作るとしたら、どのような音楽、舞台、衣装、役者を選び、どんな演出を行うのか、各自で考えたドリームプランを発表しあう

	目標	評価規準	評価資料
知識 ・技能	我が国や郷土の伝統音楽の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解できる	歌舞伎の様式の特徴、その特徴から生まれる音の多様性について理解している	プレゼン
思考 ・判断 ・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる	歌舞伎の固有性、すなわち様式美について考え、それを生かして新作歌舞伎を構成しようとしている	プレゼン
主体的に学習に取り組む態度	音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる	歌舞伎の様式を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	ワークシート

2 題材の展開

題材の流れ（全6時間）

1	歌舞伎について、基本的な事項や音楽の特徴を学ぶ
2	
3	歌舞伎ワークショップ（講師：歌舞伎俳優・中村梅乃、付け打ち：山崎徹）
4	日本の音楽を紹介する新作歌舞伎ドリームプランを立案
5	
6	班内でプレゼンテーションを行い、様々なドリームプランを交流しあう

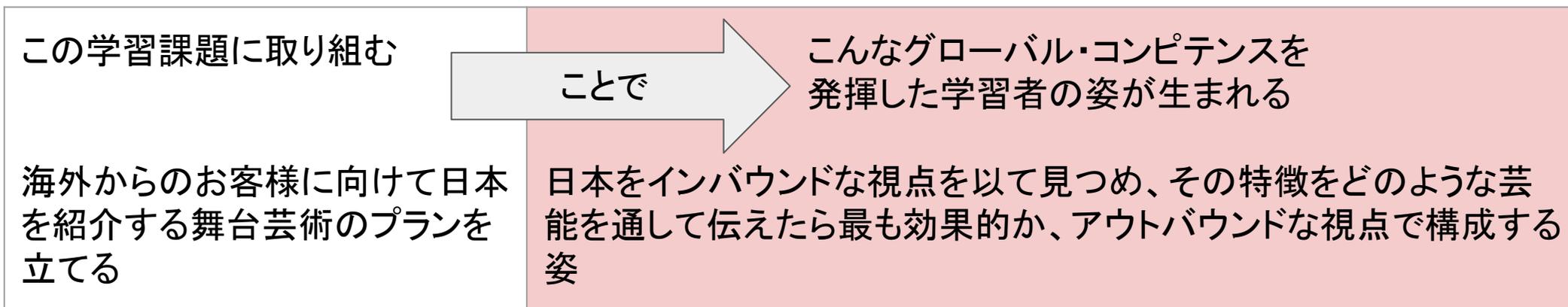
本時（6 / 6時）の流れ

本時の目標

友達の立てた新作歌舞伎ドリームプランを聞き、歌舞伎の表現の多様性を理解することができる

1. 新作歌舞伎の内容や決める項目などを再度確認する(5分)
2. 学習班(3~4人班×7)で発表し合う(1人5分×4回=20分)
 - ①自分のプランを発表
 - ②プランの中に見られる歌舞伎の様式について、海外の方が見たときの効果についてメンバーで検討する
3. 代表者による全体プレゼン(15分)
4. 新作歌舞伎の今後の可能性や伝統芸能を未来につなげていくことについて、本題材で学んだことを生かして考える⇒グループ、全体で共有(10分)

本授業で育てたいグローバル・コンピテンス



焦点化して育みたいグローバル・コンピテンス

定義	<p>【グローバルな問題の発見・検討】 地域、世界、異文化間の問題を検討し、</p> <p>【異文化・他者理解】 他者の視点と世界観を理解し認め、</p> <p>【異文化間交流】 異なる文化を持つ人々とオープンで適切で効果的な関わりを持ち</p> <p>【企画・行動】 共同体の幸福(ウェルビーイング)と持続可能な開発のために行動する能力</p>			
要素	知識	スキル	態度	価値観
	<p>グローバルな問題や、異文化理解に関する知識。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理的知識 2. 歴史的知識 <li style="background-color: #FFDAB9;">3. 社会・文化的知識 4. 経済的知識 	<p>異文化間コミュニケーションや、グローバルな問題の解決、批判的思考などのスキル</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化間コミュニケーションスキル 2. 問題解決スキル 3. 批判的思考スキル 	<p>異文化、他者への理解と尊重を深める積極的な態度</p> <ol style="list-style-type: none"> <li style="background-color: #FFDAB9;">1. 開放的で柔軟な態度 2. 他者を尊重する態度 3. 社会的・環境的責任を果たす責任感 	<p>異なる文化を持つ人々との協力と対話を促進する価値観</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公平性と公正性 2. 持続可能性 3. 平和(対話・協力・共存)

既習事項

- 三味線・箏
- ミュージックトーク
- 雅楽

歌舞伎の様式を知る

- ANAの機内安全ビデオ
- 《白浪五人男》
- 《勸進帳》
- 新作歌舞伎

歌舞伎ワークショップ

- 歌舞伎らしい動作(見得、六方など誇張した動き)
- 歌舞伎における日常動作
- ツケによる音響効果(音響によるクローズアップ効果)
- ツケと演技の相乗効果(動作と音響を掛け合わせることによる効果)

既習事項や歌舞伎ワークショップを生かし、日本の文化(日本あるある)を紹介する新作歌舞伎《日本発文化架橋》のドリームプランを立案する

★考える要素

- 紹介したい文化⇒インバウンドな視点を活用(日本の様々な文化、日本あるあるなど)
- 使用したい様式(立役、女方、見得、六方)
- ツケをどう活用するか(タイミング、打ち方)
- 使用したい音楽(三味線、民謡、歌謡曲、演歌、ポップス)
- 舞台機構(歌舞伎舞台、ステージ、スタジオ、映像)
- 役者(歌舞伎俳優、一般の俳優、アイドル)
- 衣装(着物、洋服)



各項目について、各自で考えたドリームプランを班内でプレゼン⇒海外の人から見た効果について検討する

新作歌舞伎の可能性について考える

歌舞伎＝様式美の演劇

※歌舞伎ワークショップより

例：歩く動作

侍 ⇒ 大股で足音を立て、手を大きく振りながら歩く

お姫様 ⇒ 振袖の模様を見せるように構え、肩を落として少しずつ進む

★ 日常動作も男女で大げさに違いを見せる様式

見得（動作⇒静止）
六方（花道の退場）

観客が注目するポイントとなる
クローズアップ効果を持つ

ツケによる音響効果

誇張の様式

新作歌舞伎作成のポイント

- 様式を組み合わせることにより、歌舞伎になり得る
- お客さんに特に見てほしいポイントでツケを入れると効果的
- 見得や六方には音楽を組み合わせることも効果的

最近の新作歌舞伎の動向

漫画・アニメ・ゲーム原作の歌舞伎化

⇒「ワンピース」「ナルト」「風の谷のナウシカ」「ルパン三世」「ファイナルファンタジーX」「刀剣乱舞」など、原作は多様化しており、様々なファンを獲得しようとしている

役者の多様化

⇒2023年10月、作品そのものは新作ではないが、女優・寺島しのぶが歌舞伎座で歌舞伎の演目を演じている
⇒男性アイドルが歌舞伎の舞台に立つことも多々ある

音楽の多様化

⇒新作歌舞伎の際は演目の内容に合わせて使用される音楽が多様化している。アーティストによる提供音楽、打ち込みの音楽(西洋音楽に基づくもの)、三味線用にアレンジしたものなど多種多様になっている

授業を行った上での課題点

オープクエスチョンの際にスモールステップをどう設定するか

⇒今回の新作歌舞伎ドリームプランのようなオープクエスチョンの場合、どのようにスモールステップを設定することが効果的だったか。生徒「こういうの苦手～」

オープクエスチョンの落としどころ

⇒新作歌舞伎や、歌舞伎の可能性など、答えのない設問に対してどのようにまとめていくのが最適か、私自身も答えが見えないまま始まってしまっていた。

音楽の鳴らない音楽...

⇒特に題材の後半は音楽がなかなか鳴らない授業となってしまった。舞台芸術を扱うには、その構成要素である音楽にフォーカスすることは不可欠だが、一方で知識の獲得やプランの創造などにおいて、音楽のみで成立しない内容もあるのが難点。